

# 六字城

ROKUJIJO

2019/8/1  
No.657

大阪市北区東天満 1-8-26  
06-6351-3535  
http://www.tenma-betsuin.jp  
代表者 輪番・武宮 信勝



今

向日葵から聴くアキノソノソノ

天満別院輪番 武宮信勝

天満別院墓地にて（撮影者 矢裂 隆司）

## 法要・行事予定

### 8月

- 5～6日・暁天講座（午前6時）  
武宮信勝（天満別院輪番）  
「凡愚に帰れ」
- 12日・合祀墓追弔会（午前9時）  
・闍如上人御速夜・常永代経（午後2時）  
・墓前申経（午前9時～午後5時まで）
- 13日・闍如上人御命日 兼日中（午前8時）  
・証如上人御祥月御命日  
・盂蘭盆会（午後1時30分）  
山内雅教師（第7組光明寺住職）  
「真宗門徒に於けるお盆」  
・墓前申経（午前9時～午後5時まで）
- 17日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）  
村上奈津子師（第13組 超願寺住職）
- 27日・宗祖聖人御速夜（午後2時）
- 28日・宗祖聖人御命日 兼日中（午前8時）

### 9月

- 8日・同朋の会（フィールドワーク）（午後2時）  
稲垣洋信師（第7組 長教寺住職）  
建部智宏師（ // 教應寺住職）
- 12日・闍如上人御速夜・常永代経（午後2時）
- 13日・闍如上人御命日 兼日中（午前8時）
- 17日・報恩講習礼 寺族対象（午後5時）
- 21日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）  
村上奈津子師（第13組 超願寺住職）
- 24日・秋季彼岸会 並 総永代経法要 兼  
墓地納骨（物故者）追弔法要（午後1時30分）  
麻生英城師（第12組 唯稱寺住職）
- 27日・宗祖聖人御速夜（午後2時）
- 28日・宗祖聖人御命日 兼日中（午前8時）

※諸事情により、8月は同朋の会、正信偈書写の会、定例法話はお休みさせていただきます。

### ◆報恩講習礼のご案内

左記の日程で天満別院教化委員会  
法要部会主催による報恩講習礼を開催  
いたします。内容は出退作法、巡讃等  
についての習礼を行います。是非ご参  
加くださいますようご案内申し上げます。

記

日時 9月17日（火）  
午後5時から

対象 崇敬寺院 寺族対象

講師 天満別院教化委員会法要部

### 天満別院 今月の伝道掲示板

真に愚かものと

気がつけば

人の教えを聞く

こころになる

— 暁鳥 敏 —

### 編集後記

先日、職員で暑気払い（食事会）を  
しましたが、暑気払いという言葉の意  
味を知りませんでした。調べてみると、  
「暑さを打ち払う」といった意味があ  
ること、また暑い夏に冷たい食べ物や  
体を冷やす効果のある食品、同じく体  
を冷やす効能のある漢方や薬などで、  
体に溜まった熱気を取り除こうとする  
ことなど知りませんでした。  
大阪も梅雨が明け、本格的な猛暑が  
やってきます。お互い熱中症に気をつ  
けて参りましょう。  
(H)

まもなくお盆を迎えます。亡き人を偲び、様々な御縁をいただきつつ、今生かされて生きていることの慶びをいただく墓前参りに、沢山の人が訪れます。表紙の「ひまわり」の写真は、昨年の別院墓地での一コマです。この写真は、墓地職員の矢裂さんが撮ってくれました。向日葵は、夏の花の代表として眺める人に語りかけています。花言葉は「憧れ」「あなただけを見つめる」とあります。大正の動乱の時代、苦悩の人生を生き抜いた金子みすゞさんの詩に

『向日葵』

おてんとさまの車の輪、黄金のきれいな車の輪。  
青い空をゆくときは、黄金のひびきをたてました。  
白い雲をゆくときに、見たは小さな黒い星。  
天でも地でも誰知らぬ、黒い星を轆くまいと  
急に曲った車の輪。

（中略）

おてんとさまにほり出され、真赤になってお腹立ち黄金のきれいな車の輪、はるか下界へすてられた、むかし、むかしにすてられた。  
いまも、黄金の車の輪、お日を慕うてまわります。

お日とは太陽のことです。言い換えれば、どのような生き方をしようとも、あなたを決して見捨てることではないという（撰取不捨）阿弥陀如来の大慈大悲のこころであります。「人生とは苦なり」と言われるがごとく、曲がりくねった道を余儀なく生きているのは、他ならぬ私自身であります。だからこそ、如来様を一層慕う心が湧きあがります。そこで初めて黄金のように光り輝く私を取り戻すことができるのでしよう。

# 法名と戒名、何がちがう？

位の名  
戒名  
○○○○位  
仏弟子の名  
法名 釋(尼)○○

## 答え

「戒名」とは本来、自力の仏教で定められた戒律を守り、その到達した段階において授かる名前です。いわば、努力、成果など、私の側の条件によっていただく名前といえましょう。

一方、真宗において言われるところの「法名」とは、戒律の実行に左右されない、阿弥陀様から、誰もが無条件に授かる信心の名のりと申し上げてよいでしょう。

煩惱により、自力の行もおよばぬ衆生、私にこそ、救わずにはお

れない真実の働き。「法」(梵語でダルマが起源)が、宇宙を貫いてはたらくてくださっているとお釈迦様は説いてくださいます。

そのはたらきを本願と申します。仏法を聞き、そのはたらきの中にあることに気づき、お念仏する身にさせていただくのです。無条件でも誰もが釈迦様の弟子となるのです。ゆえに「法名」にはお釈迦様の「釈」の字を一字頂戴します。

ですから「法名」は、本来生前に頂くべきものなのです。

帰敬式(おかみそり)を受け、仏弟子として生涯聞法し、お念仏申して歩みたいものです。帰敬式については、当院、またはお手次のお寺にお問い合わせてくだささ

(第15組 西稱寺 宮部 渡)

### ◆8月13日(火) 孟蘭盆会

別院では13日(火) 13時30分より孟蘭盆会が勤修されます。勤修にあたり御講師からのメッセージをご紹介します。

一般的にお盆の時期になると「お寺さんはお忙しいでしょう」と良く声をかけられます。確かにお盆参りを依頼されて少しは大変になることはあります。あるお寺さんは「今日は数十軒、明日も数十軒のお盆参りをします」と聞くこともあります。お盆参りを依頼され、家族揃ってお詣りをして、仏様に手を合わせるの良いことかと思えます。しかし一日に数十軒ものお盆参りですとお話しを聞かせてもらう時間も無いのが現実です。お盆になると墓詣りも大変です。又、ご先祖を家に迎えてご馳走をこしらえ、沢山のお供え物をしてたり大変です。昔から「亡き人、ご先祖には、お経さんが何よりのご馳走です。」といったように追善供養で終わってしまうお盆行事なのです。自分自身にとってのお盆は何だったのでしょうか。どうぞ時間を作って別院本堂の方へもご参詣し、改めて真宗門徒のお盆を考えていただければ幸いです。

### ◆お墓参りの心得VOL. 2

昨年に続き、「お墓参りの心得VOL. 2」を作成し、ご門徒・墓主の方々に同封しております。

お墓参りの心得 2019.7 vol.2

- ① まずは御本尊(お墓の御本尊)にお参りしましょう
- ② 墓地へ移動
- ③ お墓のお掃除
- ④ お線香を用意し、生花をお供えしましょう
- ⑤ みんなで一緒にお勤めしましょう

いまさら聞けないお墓の疑問

「奥会一処」の由来は、真宗大谷派の経典「浄土三部經」の一つである「法華經の譬喩」に出ています。譬喩は共に一つの場所に来ることで、別院の浄土に生まれるということです。よく聞く「一處一処」という言葉も同じ意味です。「一處一処」とは、結果はどうであれ最後まで命を共にするという事ですが、仏教的には同じ墓の花の上に身を託して命を共にするのではなく、つまずきながら命を託して命を共にするということです。お念仏(御佛)を尊とて阿彌陀様のお浄土へ参りましょう。お念仏(御佛)を尊とて阿彌陀様のお浄土へ参りましょう。お念仏(御佛)を尊とて阿彌陀様のお浄土へ参りましょう。

### ◆お盆にお墓参りされる皆様へ

○お供えものはお供えしていただいた当日にお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

○墓所周辺の道路は駐車禁止となっております。お盆期間は特に警察による取り締まりがございます。別院講堂前駐車場が満車の場合は、南側の別院境内に駐車いただきますようお願いいたします。

## 報告

### ◆青年部会主催講習会

「別院と崇敬寺院」開催の報告  
天満別院では先月2日、1階講堂にて青年部会主催の講習会が開催されました。



本山定衆 兼 宗務所本廟部部长 近松 誉 師

御講師には本山定衆 兼 宗務所本廟部部长 近松 誉師にお越しいただき、「別院と崇敬寺院」というテーマのもとに、崇敬寺院の役割と今後についてお話しいただきました。

先生からは、天満別院の崇敬寺院は水運や街道筋に沿って定まっております。かつては行政的にも経済的にも繋がっていたかもしれないが、今は天満別院にご縁のあるお寺が集まっているということ。ま

た各お寺の規模は様々で、研修の場があるという方が少なく、場があっても交通機関に限界があったりという状況の中で、天満別院のように大阪の大谷派の別院というのは幸いにして交通機関の発達したところに多く存在するというところ。そこに関わりのある方が意見、考え、願いを持ち寄り、個々のお寺ではできないことを別院でしたいというところに立った時に初めて現代の別院の役割というのが出てくるとお話をいただきました。

また我々は様々な生い立ち、ご縁の中でお寺をお預かりし、それは江戸時代から変わらず我々の根ざしているものが人間の数だけあるということ、その教化の在り方ということ、その数だけあるということ、各お寺ではできないことを担うのが別院の役割だともお話をいただきました。

これからも天満別院教化委員会 青年部会では様々な講習会を開催できればと考えています。今回来れなかった方々も、今回ご参加くださった方々も、是非次回もご参加いただければ嬉しく思います。皆様ありがとうございます。

### ◆7月 定例法話 開催の報告



榎屋クリニック院長 榎屋 義雄 師  
講題「老人医療の現状と行方」

先月27日に定例法話が開催され、御講師には、当別院の責任役員である榎屋 義雄師にお話しをいただきました。先生は投影した資料に基づいて老人医療の現状についてお話されました。「医師に症状を伝える時には格好悪いと思うことなくありのままに伝えてほしいこと、また日常生活に於ける自身の健康状態を知ることの判断材料には靴下の片足履き等があり、出来なかつた時の改善策等。また手すりを持たなくて大丈夫と思っても過信せず、寝たきりにならないために、年齢と正直に向きあってください」とお話されました。お寺さんの話とは異なっており、身近な関心のある病気についての事柄なのか、皆さん真剣な眼差しで聞き入っていました。



尚、納骨等の儀式執行は別院職員が行います。